

# 日本共産党 大津市会議 員団ニュース

No.208

2020年9・10月号

大津市御陵町3-1(市役所内)  
TEL 528-2842 FAX 524-5613

ご意見・ご要望を  
お寄せください。  
info@otsu-jcp.net



## 9月議会開会中

9月  
29日(火) 午後1時～  
議案の討論・採決  
(決算以外)

10月  
1(木) 決算常任委員会  
5(月)～7(水)  
決算常任委員会分科会  
9(金) 決算常任委員会  
13(火) 決算の討論・採決

会場：市役所4階議場

傍聴は自由です

採決日は、市役所新館1階  
ロビーでもテレビ中継が行  
われ、インター  
ネットでの中継、  
録画もご覧いた  
だけます。



9月16日、安倍政権の「継承」を掲げる菅政権が発足しました。内閣の顔ぶれもほぼ変わらず「第3次安倍内閣」に過ぎません。日本共産党市会議員団は、国政でも市政でも、自己責任を押し付ける政治から、市民によりよい福祉の向上に取り組む政治へと活動しています。

## 市民と野党の共闘で 自公政治の転換を

安保法制(戦争法)の強行採決から5年。市民と野党の共闘で廃止し、政治に立憲主義を取り戻そうと、新

しいたたかいが始まった時でもあります。19日には、全国各地

で戦争法を廃止する新しい政権をとアピールが行われました。党市議団も市内を

宣伝カーでまわり、市民の行動にも参加。総選挙を見すえ、意

気高く訴えました。

## 誰も置き去りにしない 新しい政治へ



住民の会の行動に参加する党市議団(坂本)

## 9月補正予算

新型コロナ対策

事業者応援給付金の  
期間延長！  
使いやすく改善を

9月通常会議の初日に、市の小規模事業者応援給付金の期限を延長する補正予算が全会一致で可決されました。

9月通常会議の初日に、市の小規模事業者応援給付金の期限を延長する補正予算が全会一致で可決されました。

給付金が届いた事業者からは喜びの声を聞く一方で、中小企業庁も個人事業主と認めている企業組合加盟の事業者はそもそも対象になっていません。また、直近1カ月と、直近3カ月の事業収入の両方が前年同月比で30%以上減少していることなど、給付金の要件

が厳しく、書類を返却された事業者も200件以上あることがわかっています(8月末)。多くの自治体は、どちらかの事業収入減で判断しています。党市議団は問題を指摘し、改善を要望するとともに、長引くコロナ禍の下で市内事業者の経営はますます深刻になることが予想され、引き続き、丁寧な対応と必要な手立てを積極的に行うことを求めました。

## 9月通常会議・一般質問紹介

### 検査の対象と体制をひろげ 新型コロナから命と暮らしを守れ



空気乾燥する

これからの季節は、新型コロナウイルスの感染がさらに拡大するおそれがあります。感染力のある無症状者の早期発見、保護を行うためのPCRなど検査の拡充が必要で

柏木けい子 市議

す。世論に押されて、厚生労働省は7・8月の事務連絡で、面的な検査の重要性を認め、各都道府県、政令市、中核市に検査の拡大を求めました。柏木市議は、介護施設クラスターが発生している大津市では、この事務

連絡に基づき検査対象を広げるべきと市の方針を質しました。市は、地域の関係者を幅広く検査対象にしていくことは重要な対策の一つだとしつつも、県の検査体制計画に連携していくという答えでした。保健所を所管する中核市であり、市として主体的に検査拡大を行うよう求めていきます。【その他の質問項目】インフルエンザ対策、障がい者の移動支援について

## しんぶん赤旗 桜を見る会報道

首相主催の公的行事「桜を見る会」に、安倍前首相の地元後援会員が大量に招待されていた——「しんぶん赤旗日曜版」のスクープ(昨年10月)と一連の報道が、2020年のJCJ(日本ジャーナリスト会議)

## 国政、メディアにインパクト JCJ大賞 受賞

日本ジャーナリスト会議

大賞に選ばれました。誰に「忬度(たぐ)」「する」ことなく、強大な権力の不正を追及するジャーナリズムの精神に立って報道する「しんぶん赤旗」の姿勢が評価されました。

## しんぶん赤旗を ぜひお読みください

日刊紙 月 3,497円  
日曜版 月 930円  
滋賀の情報は  
週刊 滋賀民報 月 380円



## 中小事業者支援の強化へ 「振興条例」の早期制定を



たてみち秀彦 市議

消費税の増税と新型コロナウイルスの影響で市内の中小・小規模事業者の営業は先の見通しが立たず、依然として厳しい状況が続いています。一方で、地域の事業者が元気でいることの大きさも実感されています。

たてみち市議は、地域経済の活性化だけでなく、まちづくりに重要な役割を果たしている中小事業者支援に本腰を入れて取り組むために「中小企業振興条例」の早期制定を求めました。

答弁で、現在の取り組みを見直し、制定に向けて予算を組んで検討を行っていく市の方針が明らかになりました。

たてみち市議は、実効性のあるものにしていくために調査機関の報告だけでなく、職員が直接事業者の状況や声の把握に取り組むよう重ねて求めました。

【その他の質問項目】「コロナ禍の災害避難について

## 「コロナ禍を乗り越える 保育環境の改善を

杉浦とも子 市議



新型コロナウィルスの感染拡大の

下で、「自粛」による子どもたちの心身への影響の大きさが心配されます。この非常時

にあっても、子どもたちの成長を保障する保育園は大きな役割を果たしています。

しかし、90年代から職員配置や保育室の面積は規制緩和がくり返され、感染症対策として三密を避けること

が強調されているにもかかわらず、すし詰め状態の保育園が増加しています。

杉浦市議は、消毒作業や給食の対応などの日常業務の増加にも対応しながら、子どもたちの成長や発達を支える保育の現場に光をあて、保育士配置基準や保育室の面

## 未来を担う子どもたちに 少人数学級を

小島よしお 市議

3か月に及ぶ新型コロナウイルスによる一斉休校の後、短期間でしたが各地の学校で20人前後の授業が行われました。

先生たちからは「子どもたち一人ひとりの表情がよく感じ取れた」。生徒からは「授業が楽しい。先生が丁寧に勉強を見てくれた」などの声が寄せられ、少人数学級が手厚い教育にいかにも有効かが全国の経験となりました。しかし現在は35人学級に戻り、三密状態のまま、先生方は遅れた授業の取戻しや生徒の検温、消毒作業などに追われ疲

積などを充実させることを求めました。市は役割を發揮できるように体制整備に努めるとしました。子どもたちの豊かな成長のために、引き続き保育環境の充実を目指していきます。

【その他の質問項目】「国民健康保険、生活保護、市人事情与制度について



小島よしお 市議

労働、子どもたちも不安

な状態に置かれています。

小島市議は、学校の三密解消と少人数学級の実現、教員増を求め質問。市は少人数学級は有効な手段と認めたとの、大幅な教員増員と施設改修が必要となり難しいと消極的な答弁でした。教員の働き方の改善もあわせて、国・県とも連携し実現するよう求めていきます。

【その他の質問項目】「特別定額給付金、陀羅谷不法投棄・産廃問題について

## 実証実験で事故 ただちに計画中止を

7月12日から9月27

日まで、大津駅とプリンスホテル間で一般客を乗せた自動運転バスの実証実験が行われていました。自動運転バスは、国が民間や自治体と共同で推進し、大津市も2018年から参加しています。

8月30日、実験運行中にバスが歩道柵の支柱に接触する事故が起きました。市は状況をホームページに掲載した



横の車体（8月）に柵が接触した市民歩道

ものの報道発表はせず、9月6日にマスコミが取り上げ、7月にも接触事故があったことがわかりました。バスには走路外の障害物を検知する機能がありませんでした。

安全性が確立していない自動運転の導入は見直し、バス・タクシー事業者などと協働して公共交通を充実させるべきです。

## 問題だらけのマイナンバーカード 普及促進はNO！

林まり 市議



現在、政府は24府は2478億円もつぎ込み、マイナンバーカードを利用した「マイナンバー事業」を実施しています。2023年度までにはほとんどの国民がカードを保有することを目指し、大量の広告宣伝を行い、その普及に躍起です。しかし、16年のカードの導入直後からシステムトラブルをくり返し、現在でも不安定な状態が続き、窓口では市民が長時間の待機や出直

しを強いられています。林市議は、このような状況でカード普及を推進することや、プライバシーの保護や防犯上の危険もあり、マイナンバーと様々な個人情報とのひもづけについて慎重な判断を求めました。

市は、市民に迷惑をかけていることは一定認めたものの、今後も普及促進に努めると答弁。国言いなりでなく市民の立場にたつべきです。

【その他の質問項目】「森林整備、会計事務の民間委託について

## 自動運転・安全確保はまだ先